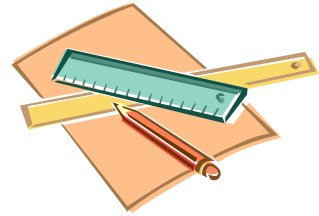


令和5年度

第3学年

『学習のしおり』



河内長野市立 西中学校

令和5年度 学習のしおり

もくじ

	教 科	頁
1	国 語	1～2
2	社 会	3～4
3	数 学	5～6
4	理 科	7～8
5	英 語	9～10
6	音 楽	11～12
7	美 術	13～14
8	技 術	15～16
9	家 庭	17～18
10	保健体育	19～20

●学習目標

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、理解し実践できるようになる。
- 論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
- 言葉が持つ価値を深く理解するとともに、読書を自分を向上させることにつなげ、意識して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 国語3 光村図書 中学書写 教育出版 副教材 よくわかる国語の学習3 光村図書 漢字の学習3 浜島書店 3年間の総整理問題集 正進社	持ち物	教科書 ファイル 副教材(ワークなど)
学習の進め方	【 確かな学力を身に付けよう 】 ○言葉や表現に興味、関心を持ち読書に親しもう。 ○教科書を読み込もう。 ○学習のめあてを理解し、授業に真剣に取り組もう。 ○授業中、聞き取ったことをメモで整理しよう。 ○学習の振り返りに、授業プリントを見直すなど活用しよう。 ○プリント、課題、作文などわかりやすく、表現を工夫して書こう。 【家庭学習】 ○授業の前に必ず教科書を読んでおこう。 ○復習は必ず行い、要点を整理しよう。 ○まとめ問題集を活用し、1, 2年生の古典や言語事項の復習をしよう。		
学習上の留意点	○授業に必要なものを確認し、課題の提出など、学習のための準備を整える。 ○授業に集中して取り組めるよう、体調を整えて授業に臨む努力をする。 ○社会の出来事や読書に興味関心を持つことも、学習の力を伸ばします。 ○根拠をもとに自分の思いを話したり、記述できるよう意識しましょう。		

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	授業への準備 「世界は美しいと」	中間テスト	知識・技能 ○伝統的な言語の文化に積極的に取り組み、学習に生かしている。 ○言語表現における効果や技能を理解し表現できる。	○提出物 ○定期テスト ○実力テスト ○小テスト
5	「聞く」を評価しながら書く 「握手」			
6	「論語」 「熟語の読み方」 「作られた物語を超えて」 「思考のレッスン」 「俳句の可能性」			
7	「文法1」 「メディアを比べよう」 「俳句を筆で書こう」 「和語・漢語・外来語」 「読書をたのしむ」 「行書と仮名の調和」	期末テスト	思考・判断・表現 ○人に自分の考えを伝えようとしている ○他人の話の内容を的確につかんでいる ○根拠をもとに自分の考えを話すことができる。 ○適切な言葉を選び、簡潔に表現できる。 ○丁寧な文字で文面を整えて書くことができる。	○提出物 ○表現活動
9	「挨拶」 「翻訳作品を読み比べる」 「故郷」	中間テスト		
10	「漢字の造語力」 「人工知能と未来」 「多角的に分析して書こう」	期末テスト		
11	「音読を楽しもう」 「文法2」	学年末テスト	○表現上の工夫や、語句のまとまりを理解することができる ○文章を読んで自分の意見を持つことができる	○提出物(点検)プリント等 ○定期テスト ○実力テスト
12	「和歌の世界 仮名序」 「万葉・古今・新古今」 「奥の細道」 「誰かの代わりに」			
1	「情報を読み取って文章を書こう」 「温かいスープ」			
2	「わたしを束ねないで」 「文法の総復習」	主体的に学習に取り組む態度	○意欲、関心をもって課題に取り組む姿勢が感じられたか。 ○意欲的に自ら学習を進められたか。 ○国語の楽しさや国語の良さについて気づき粘り強く考え、国語を生活や学習に生かそうとしている。	○行動観察(態度・発言など) ○準備物 ○提出物(点検) ○プリント等
3	「3年間の振り返り」 「予備」			

状況に応じて学習の順序が変わることや別の教材を用いることもあります。
教材ごとに適宜、表現活動を取り入れる予定です。

●学習目標

- 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料より様々な情報を効果的に調べまとめられる技能を身につけるようにする。(知識・技能)
- 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それを基に議論したりする力を養う。(思考・判断・表現)
- 社会的事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さを自覚できるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)

●学習を進めるに当たって

使用教材	「中学社会 公民的分野」 日本文教出版 「歴史的分野」 帝国書院 歴史・公民の資料集・問題集 地図帳 帝国書院	持ち物	教科書・ファイル 地図帳・プリント 色鉛筆または色ペン 問題集
学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業を前向きな姿勢で集中して受けることができるようにしておく。 ○ 発問に対して、積極的に考えてみる。 ○ 作業を丁寧に行い、資料を使いこなせるようにする。 ○ 積極的に話し合いに参加し、自分の意見が言えるようにする。 <p>《過程学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予習・復習を大切にし、授業でやった内容を家庭で確認しておく。 ○ 授業でとった板書内容やメモを整理しておく ○ 新聞やニュースなどを見る習慣をつける。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な内容や意味をまとめて理解している。 ○ 授業中で行った内容をしっかりまとめ、確認している。 ○ グラフや表などの資料が読み取れ、地図を使いこなし資料のグラフ化もできる。 ○ 時間内で解答できるように、時間を意識して解答に挑戦する。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 持ち物を忘れずに持って来れるようにする。 ○ プリントをしっかりとめ、先生が話した内容などのメモがとれるように日頃から意識して授業にのぞむ。 ○ 聞くととき、話し合うとき、意見を言うとき、考えるときなど、その場に応じて進んで学習に参加する。 		

●学習内容及び評価について

		学習計画		評価に当たって						
月	単元計画		試験	評価の観点	評価の場面・方法					
	歴史	公民								
4	第4章 近代国家への歩み		中間テスト	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野。各単元の学習内容を理解し、知識を身につけ、小テストや定期テストで正しく答えたり、教師の問いかけに答えることができる。 ・地図や写真、グラフなどの資料から情報を収集、選択して読み取り、いろいろな場面に利用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見発表 ・定期テスト ・小テスト ・提出課題 				
5	第5章 帝国主義と日本									
6	第6章 アジアの強国の光と影									
7	第6部 二度の世界大戦と日本									
8	第7部 現在に続く日本と世界									
9	第1編 私たちと現代社会						中間テスト	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・発問に対して、きちんと考察している。 ・課題に対して、既習の知識をもとに、正しい考察の上で判断ができる。 ・課題に対して、自分の意見や考えを文章記述や発表などの言語活動を通じて表現できる。 ・図や表を用いて提出課題にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動 ・意見発表 ・学習プリント ・定期テスト ・小テスト ・提出課題
10	第2編 生活と政治									
11	1章									
12	1 日本国憲法									
1	2 基本的人権									
2	3 平和主義	期末テスト	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・前向に授業に参加している。 ・粘り強く知識を正しく得ようと努力できる。 ・発問や話し合い活動に対して積極的に参加し、考えようとしている。 ・学習プリントやノートなどを丁寧に作成し提出している。 ・マスメディアなどから情報を取り入れ、世の中のニュースをある程度認識している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習態度 ・提出状況 ・テスト直しの努力内容 ・ノートのプラスα ・学習プリント等の仕上げ内容 ・話し合い活動 ・意見発表 					
3	2章									
	1 民主政治と政治参加									
	2 国の政治のしくみ	学年末テスト								
	3 暮らしを支える地方自治									
	第3編 生活と経済									
	1 経済と消費生活									
	2 生産の場 企業									
	3 金融のしくみ									
	4 財政と国民福祉									
	第4編 私たちと国際社会									
	1 国家と国際社会									
	2 国際社会の課題									
	第5編 私たちの課題									

●学習目標

- 数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また、目的に応じて計算したり式を変形したりする能力を伸ばすとともに、二次方程式について理解し用いる能力を培う。
- 図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。
- 具体的な事象を調べることを通して、関数 $y=ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を伸ばす。
- 母集団から標本を取り出し、その傾向を調べることで、母集団の傾向を読み取る能力を培う。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書「新しい数学3」東京図書 授業配布プリント ワーク	持ち物	教科書 ワーク ファイル
学習の進め方	<p><確かな学力を身につけよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャイムと同時に学習できるように学習に必要なものを準備しておく。 ・授業を前向きな姿勢で集中して受ける。 ・積極的に発表や質問をする。 ・分からない部分はその日のうちに解決する。 <p><家庭学習について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習を大切にし、授業の内容を確認しておく。 ・学習した内容を問題集などで、練習する。 ・授業でわかっても、自分一人でやるとできないこともあります。 わかることとできることはちがいます。授業で学習したことを家庭で十分に復習し、定着させていくことにより、できるようになります。がんばってください。 ・わからない問題は、最低30分(時間がないときは15分ぐらい)は考えて下さい。 それでわからなければ、友だちや先生などに聞いて下さい。 考える時間が長ければ長いほど、短時間の説明で理解できるはずです。 また、同じような問題を解くときに、すぐに解けるようになると思います。 <p><定期テストについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書や授業プリント、ワーク、をしっかりと見直しましょう。 ・授業の内容をしっかりと確認し、反復練習をする。 ・解き方や公式を理解し、使えるようにする。<家庭学習について> 		
学習上の留意点	<p>私たちは生活の中で、いろいろな計算を使います。そして様々な活動をするときに、どの方法で取り組めば能率的に行えるだろうかということを考えます。また、人に何かを説明するとき、順序立てて話さないとやりたいことがうまく伝わらないこともあります。数学は計算力だけでなく、そのような力をつけるための時間です。だから答えを出すことだけを考えるのではなく、答えを導き出す過程を大切にしてください。</p>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって					
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法			
4	1. 文字式を使って説明しよう 1節 多項式の計算	中間テスト	知識・技能 ○簡単な式の展開や因数分解をすることができる。○数の平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。○平方根を利用したり解の公式や因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。○関数 $y = ax^2$ を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。○相似の意味及び三角形の相似条件について理解し、相似な平面図形の相似比と面積比の関係についても理解している。○円周角と中心角の関係の意味を理解している。○三平方の定理を理解し、定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。○標本調査の意味を理解している。○上以外の評価観点については授業中に話します。	○授業中の評価問題や確認問題 ○発言、発表 ○実力テスト ○定期テスト			
5	2節 因数分解 3節 式の計算の利用						
6	2. 数の世界をさらに広げよう 1節 平方根						
7	2節 根号をふくむ式の計算 3節 平方根の利用						
8	3. 方程式を利用して 問題を解決しよう 1節 2次方程式とその解き方 2節 2次方程式の利用						
9							
10	4. 関数の世界を広げよう 1節 関数 $y = ax^2$				中間テスト	思考・判断・表現 方程式を解く方法を考えまとめることができる。○ $y = ax^2$ との関数の変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考え表現することができる。○三角形の相似条件などを基にして図形の性質を証明することができる。○三平方の定理を見いだすことができる。○標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。○各単元で学習したことを具体的な場面で活用することができる。○上以外の評価観点については授業中に話します。○式の展開や因数分解および平方根をふくむ式の計算をする方法を考えまとめることができる。○2次	○授業中の評価問題や確認問題 ○発言、発表 ○実力テスト ○定期テスト
11	2節 関数 $y = ax^2$ の性質と調べ方 3節 いろいろな関数の利用						
12	5. 形に着目して図形の性質を調べよう 1節 相似な図形 2節 平行線と比 3節 相似な図形の面積と体積						
1	6. 円の性質を見つけて証明しよう 1節 円周角の定理 2節 円周角の定理の利用	学年末テスト	主体的に取り組み態度 ○数学活動の楽しさや数学のよさについて気付き粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたりしている。○問題解決の過程を振り返って検討しようとして、多面的に捉え考えようとしていたりしている。	○授業プリント ○ワーク ○提出物 ○発言、発表 ○忘れ物等 ○授業態度			
2	7. 三平方の定理を活用しよう 1節 三平方の定理 2節 三平方の定理の利用						
3	8. 集団全体の傾向を推測しよう 1節 標本調査 3年間のまとめ						

●学習目標

- 自然界の様々な現象に対する関心を高めよう
- 目的意識を持って観察・実験などをおこない、科学的に調べる力をつけよう。
- 自然の事物・現象についての理解を深めよう。
- 科学的な見方や考え方を養い、自分の考えを表現する力をつけよう。

●学習を進めるに当たって

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書「未来へ広がるサイエンス」 啓林館 ○ ワーク「学習整理 理科 3 年」学宝社 ○ 整理と対策 明治図書 	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書 ○ ノート ○ のり ○ 整理と対策 ○ ワーク
学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然の様々な現象に興味・関心を持とう。 ○ 学習の目標をとらえ、授業は真剣に取り組もう。 ○ ノートや観察・実験レポートはわかりやすく工夫して書こう。 ○ 自分で課題を見つけ、みんなの前で発表できる力をつけよう。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 復習は必ず行い、授業を思い出しながら、教科書などをもう一度見直す ○ 計画的に1・2年生の復習をしよう。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テスト範囲は、テスト一週間前には通知します。 ○ 教科書・ノート・プリントなどをよく見直し、十分に理解しておこう。 ○ 問題練習をできるようになるまで、繰り返しやろう。 ○ 学習計画をきちんとたてて、実行していこう。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書、ノートなどは必ず授業が始まる前に用意しておこう。 ○ 理科室への移動はチャイムの鳴る前に完了しておこう。 ○ 授業は真剣に、集中して、積極的に取り組もう。 ○ 先生や発表者の話をしっかり聞こう。 ○ 実験によっては危険な薬品を使うことがあります。また、ガラス器具や危険をとまなうものもあります。先生の指示がある前から器具に触れたり勝手なことをしないこと。また、実験中もふざけないこと。 		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン	中間テスト	知識・技能 ○観察や実験の方法を正しく身につけているか。 ○図やグラフを工夫し作成することができたか。 ○自然に関するいろいろな用語の意味や観察・実験の方法などを正しく理解し、確実な知識として身につけ、適切に活用することができたか。	・ノート ・プリント ・定期テスト ・実力テスト
5	2章 電池とイオン			
6	3章 酸・アルカリと塩			
7	生命の連続性 1章 生物の成長と生殖			
8	2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化			
9	運動とエネルギー 1章 力の合成と分解			
10	2章 物体の運動			
11	3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用			
12	地球を見る 1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き	期末テスト	主體的に取り組む態度 ○意欲、関心を持って課題に取り組む姿勢が感じられたか。 ○意欲的に自ら学習を進められたか。 ○理科の楽しさや理科のよさについて気付き粘り強く考え、理科を生活や学習に生かそうとしたりしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている	・行動観察(態度・発言など) ・提出物 ・プリント ・小テスト等
1	3章 月と金星の動きと見え方			
2	自然と人間 1章 自然界のつりあい 2章 様々な物質の利用と人間 3章 科学技術の発展	学年末テスト		
3	4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして			

●学習目標

- 英語での言語活動(インタビュー、スピーチ、ディスカッションなど)やグループ・ペア活動に積極的に参加し、他者とのコミュニケーションを大事にする姿勢を身につける。
- 「読む・書く・話す・聞く」を日常的に反復し、自分を表現する力を身につける。
- 異文化に触れることで広い視野をもち、興味をもって学習に取り組めるようになる。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 Sunshine 授業配布プリント 指定の副教材	持ち物	教科書 マスターノート ワーク ノート 3年間の総仕上げ問題集 (宿題で使用するので 常備でなくてよい)
学習の進め方	<p><確かな学力を身につけよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読む」「書く」「聞く」「話す」の4つの力をバランスよく身につけましょう。 ・実際に英語を使って、積極的にコミュニケーションをとるようにしましょう。 ・外国の文化にも興味を持ちましょう。 <p><家庭学習について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、継続して、学習する習慣をつけましょう。 ・日常的に「単語練習」「本文の音読」を行い、最終的には「書ける」ようになりましょう。 ・授業で習った内容を、その日のうちに、ワークや、練習ノートで復習しましょう。 ・学校では学校の授業で行えることのみ行いますので、それを補う家庭学習はとても大切です。日々の宿題、復習に取り組みましょう。 <p><定期テストについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書やノート、ワークをしっかり見直しましょう。 ・発音と綴りの関係を意識し、声に出しながら単語を書いて覚えましょう。 ・教科書の基本文を暗唱できるようにしましょう。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物がないようにしましょう。 ・チャイムが鳴るまでに、授業の準備を終え、着席しておきましょう。 ・音声や先生の発音をしっかりと聞き、英語の発音を意識しましょう。 ・まちがいを恐れず、活動には積極的に参加し、分からないところは班の仲間に聞けるような、積極的な姿勢を身につけましょう。 ・提出物の提出期限は必ず守りましょう。 		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって							
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の基準・場面・方法					
4	現在完了(完了,継続,経験)の復習、現在完了進行形	中間テスト	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容の言語材料や文法項目の意味や働きを理解できる。 ○英文を読み、内容を理解できる。 ○英文や質問文の内容を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期テスト・実力テスト ○パフォーマンステスト ○提出物 ○発表活動 ・学習内容の言語材料や文法項目の意味や働きを正確に理解しているかどうか。 ・英文の内容が正確に理解できているかどうか ・英文や質問文の内容を聞き、正確に理解できているか 				
5	不定詞 (It's~for 人 to...など)								
6	間接疑問文 接続詞 that								
7	スピーチ								
8	SVOC の文 SVO+動詞の原形 スピーチ								
9	読み物教材 分詞による後置修飾					実力テスト	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容の言語材料や文法項目を使って、自分の思いや考えを表現できる。 ○自分の思いや気持ちを整理し、気持ちを込めて発表や音読ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期テスト・実力テスト ○パフォーマンステスト ○提出物 ○英作文 ○発表活動 ・学習内容の言語材料や文法項目を適切に利用し、自分の思いや考えを表現できているかどうか ・自分の思いや気持ちを整理し、気持ちを込めて発表や音読ができているかどうか。
10	関係代名詞(主格・目的格)								
11	関係代名詞(主格・目的格・省略)								
12	ディスカッション 仮定法過去	中間テスト	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容の習得にむけて、主体的に取り組むことができる。 ○発表活動やペア・グループワークに積極的に参加することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業に対する意欲・態度 ○パフォーマンステスト(スピーチ・インタビュー・チャット・ディスカッション) ○提出物 ○発表活動への取り組み ・学習内容の習得にむけて、概要や要点を主体的に捉えようとしているかどうか。 ・発表活動やペア・グループワークで、積極的に参加しようとしているかどうか。 				
1	読み物教材	期末テスト							
2	読み物教材	学年末テスト							
3	読み物教材								

●学習目標

- 音や音楽への興味・関心を養い、音楽活動の楽しさを体験することを通して、生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、様々な鑑賞を通して音楽の良さや多様性を感じ取る。
- 豊かな音楽活動をめざし、基礎的な表現(歌唱・器楽・創作)の技能を身につけ、創意工夫して表現する能力を高める。
- 多様な音楽を味わい、そのよさや美しさを感じることで、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 音楽のおくりもの2・3下 (教育芸術社) 中学生の器楽(教育芸術社)	持ち物	教科書2冊 アルトリコーダー 音楽ノート 音楽ファイル
学習の進め方	<p>〔豊かな学力を身につけよう〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○興味・関心をもって授業に臨む。 ○授業の準備をきちんとする。(忘れ物をしない) ○話をよく聞き、意欲的に練習や活動に参加する。 ○授業の中で学習した曲について、意見や感想を持つようにする。 <p>〔家庭学習〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実技の練習(リコーダー)を行うように指導する。 <p>〔定期テスト〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実技テストは基本として授業時間内に行う。 ○毎回の授業での活動や練習を大切にする。 ○定期テストは每学期行う。授業内容をしっかりと理解すること。 		
学習上の留意点	<p>基礎的な声の出し方や楽器奏法の技能や表現を学ぶことで、積極的に表現をしようとする意欲を高め、互いの個性を認め合い、共に表現する楽しさや喜びを感じあう。また、「音」はすぐに消えてしまう1回限りのものであることを理解し、美しいハーモニーを作る為に、集中して「聴く」態度を心掛ける。一人ではできない合唱をみんなと協力して取り組み、のびのびと表現できる雰囲気を作る。「合唱」「器楽」そして「鑑賞」などを通して、音楽に対する感性を身に付け、音楽のもつ美しさ、素晴らしさを感じとり意欲的に取り組む。</p>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	●歌詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫しよう	知識・技能	○声部の役割と全体の響きとの関わりを理解し、表現を工夫して歌っているか。 ○楽器の特徴をとらえ正しい奏法を身につけ表現しているか。 ○さまざまな音楽の背景にある文化や歴史を総合的に理解し聴くことができているか。	歌唱 器楽 定期テスト 実技テスト
5	●楽典 楽曲に使われる記号を確実に覚えよう			
6	●鑑賞 オーケストラの豊かな響きを味わおう			
7	●リコーダー ＃や♭が付いた曲にも挑戦しよう	思考力・判断力・表現力	○歌詞の内容や曲想を感じ取りながらどのように表現したらよいか自分なりの思いや意図を持っているか。 ○声部の役割と全体の響きとの関わりを理解してどのように音楽表現するかについて思いや意図をもっているか。 ○曲想にふさわしい歌い方で表現しているか。 ○曲の構成やオーケストラの音色に関心を持ちながら、全体を味わって聴いているか。	歌唱 器楽 ワークシート 定期テスト 実技テスト
9	●詩の内容と曲想の変化を感じ取り、強弱の変化を工夫しパートの役割を理解して表現しよう			
10	●鑑賞 日本の伝統音楽に親しもう			
11	●鑑賞 バレエ音楽をとおして他の芸術との融合を感じ取ろう			
12	●アルトリコーダー 2重奏や3重奏の響きを意識し、演奏しよう			
1	●アルトリコーダー 2重奏や3重奏の響きを意識し、演奏しよう	主体的に学習に取り組む態度	○日本の音楽や和楽器の音色の特徴を感じ取って聴くことができているか。 ○積極的に「歌唱」「器楽」「鑑賞」「創作」に取り組むことができたか。 ○曲想を味わい、イメージを持って聴く学習に関心を持ち、主体的に取り組もうとしているか。	歌唱 器楽 ワークシート
2	●強弱の変化を生かした表現を工夫しよう			
3	●卒業式に向けて	期末テスト		

●学習目標

- 自ら進んで美術の活動に取り組み、美術を愛好する心を培い、うるおいのある心豊かな生活を創造する意欲を高めよう。
- 対象を深く見つめて感性や想像力を一層高め、独創的な見方や考え方を培おう。
- 自分のねらいに応じた構想や表現方法を工夫し、見通しを持って表現する力を伸ばそう。
- 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深めよう。
- 心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう力を高めよう。

●学習を進めるにあたって

使用教材	教科書 美術2・3上 学びの実感と広がり 美術2・3下 学びの探求と未来 (日本文教出版) 副教材 美術資料 (秀学社)	持ち物	教科書 ノート 美術資料 スケッチブック デザインセット 筆記用具
学習の進め方	<p>[確かな学力を身につけよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいをしっかりとらえ、目標をもって授業に臨もう。 <p><表現活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな発想力・計画的な構想力のもと試行錯誤をしながらも粘り強く取り組み、達成感や充実感を味わおう。 <p><鑑賞活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術作品などに対して自分の価値意識を持って味わい、自身の意見や感想をしっかりと持とう。 <p>[家庭学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テレビや新聞・インターネットなどで美術関連の番組や記事などに興味・関心を持とう。 ○美術館や博物館で本物に触れる機会をつくろう。 ○自分の作品を飾るなどして、生活の中に活かそう。 <p>[定期テスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期テストは1・2学期に行う。 ○授業内で行うテストについての説明をしっかりと理解すること。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○チャイム着席を守ろう。 ○授業に必要なものを忘れないようにしよう。 ○説明をしっかりと聞き、授業のねらいをとらえ、発想を広げよう。 ○創意工夫をして粘り強く取り組み、達成感を味わおう。 ○道具や材料の後片付けは責任をもってきちんとしてよう。 ○配布した資料等は、ノートに貼り付け、整理しておこう。 		

●学習内容及び評価について（3学年 美術科）

学習計画		評価にあたって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	空想は現実を超えて ・想像の世界を表す 心のイメージを形に ・印象や感情を形や色で表そう	期末テスト	知識・技能 ○対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ○意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	作品 ワークシート テスト
5	聰いを生み出す場所 ・心地よい空間を考える 暮らしやすさのデザイン ・使う人の立場で考える			
6	デザインで人生を豊かに ・美術の力で課題を解決する 人が生きる社会と未来 ・快適な道を考え、表す			
7	ルネサンスが目指したもの ・人間をよく見てみる			
8				
9	きらめきゆらめき ・光に気持ちを重ねて描く			
10	今を生きる私へ ・自分に向き合って表す			
11	心がほっとなごむもの ・使う人のことを思いつくる			
12	文化の出会いがもたらしたもの ・ジャポニスムを通して考える			
1	つくって使って味わう工芸 ・材料の特性を生かす 自分へ送る卒業記念品 ・世界で一つの装飾をつくる	期末テスト	思考・判断・表現 ○自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かい発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	作品 ワークシート テスト
2	視点の冒険 ・新鮮な見方で風景を描く 構図に思いをのせて ・写真で対象の魅力をとらえる その一枚が人を動かす ・イメージの力で伝える			
3				
		学年末テスト	主体的に学習に取り組む態度 ○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業態度 ワークシート 練習課題 テスト

●学習目標

○ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

情報に関する技術

(1)情報通信ネットワークと情報モラルについて

- ・コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知る。
- ・情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知る。
- ・著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考える。
- ・情報に関する技術の適切な評価・活用について考える。

(2)デジタル作品の設計・制作について

- ・メディアの特徴と利用方法を知り、制作品の設計ができる。
- ・多様なメディアを複合し、表現や発信ができる。

(3)プログラムによる計測・制御について

- ・コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知る。
- ・情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成できる。

●学習を進めるに当たって

材 使用 教	教科書 「技術・家庭 技術分野」 開隆堂	持 ち 物	教科書 ・ ノート 筆記用具・クロームブック
学習の 進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <p>○説明はしっかりきこう。</p> <p>○何事もじっくり考え、自分にできる精一杯の努力をしよう。</p> <p>○わからないところ、できていないところを明確にし、学習・実習に取り組もう。</p> <p>○出来るようになったところ、自分の成長したところに自信を持とう。</p> <p>○実習中は、・安全第一に取り組もう。</p> <p style="padding-left: 20px;">・説明中は静かにしよう。</p> <p style="padding-left: 20px;">・清潔にしよう。</p> <p style="padding-left: 20px;">・マナーを守ろう。</p> <p>《家庭学習》</p> <p>○学校で習ったことを家で活用し、実践してみよう。</p> <p>《定期テスト》</p> <p>○学習したことをしっかり復習し、テストに臨もう。</p>		
学習上の 留意点	<p>○忘れ物をしない。</p> <p>○提出物は期限を守り、きちんと仕上げて提出しよう。</p> <p>○実習においては、目的と方法を理解し、安全を第一に取り組もう。</p> <p>○グループの活動では、仕事を分担し、協力して作業を行おう。</p> <p>○生活の中で活用できるように工夫しよう。</p>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって			
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法	
4	◇生物育成の技術	期末テスト	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータにおける基本的な情報処理の仕組みと情報通信ネットとワークにおける安全な情報利用の仕組みについての知識を身に付け、情報に関する技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。 ・メディアの特徴と利用方法についての知識を身に付けている。 ・コンピュータを用いた計測・制御の基本的な仕組みについての知識を身に付けている ・多様なメディアの複合、表現や発信ができる。 ・簡単なプログラムを作成できる。 	行動観察 ノート 提出物 定期テストなど
5	・生活や社会と生物育成の技術				
6	・さまざまな生物育成の技術				
7	・生物育成の技術による問題解決				
8	・これからの生物育成の技術				
9	情報に関する技術				
10	・情報通信とネットワークの利用				
11	・情報通信ネットワークと情報セキュリティ				
12	・情報モラルと知的財産				
1	・プログラムによる計測・制御				
2		学年末テスト	主体的に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会を築くために、情報に関する技術に関心を持ち、適切に評価し活用しようとしている。 ・情報に関する技術にかかわる倫理観を身に付け、知的財産を創造・活用しようとしている。 	行動観察 提出物 ノート
3	・情報に関する技術とわたしたち				

●学習目標

○生徒の生活の基盤となる家庭や家族の機能を理解し、衣食住などの生活に関わる基礎的・基本的な知識及び技術を習得することによって、生活の自立を目指し、家庭生活をよりよく豊かに創造しようとする能力と態度を育てる。

食生活

- ・食品の特徴や調理上の性質について理解し、調理技能を習得する。
- ・持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。

家族・家庭と子どもの成長

- ・家族関係をよりよくする方法を考えるとともに、家庭の機能は経済生活、社会生活の安定に基盤があることを理解する。
- ・幼児の体と心の発達の特徴を知り、家族の役割について考える。
- ・幼児の遊びの意義や特徴について理解し、遊びを支える環境について考える。
- ・幼児の遊び道具や幼児の生活に役立つものの製作を通して、幼児についての理解を深める。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 「技術・家庭 家庭分野」 開隆堂	持ち物	教科書 ハンドノート
学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <p>○説明はしっかりききましょう。</p> <p>○何事もじっくり考えて、自分にできる精一杯の努力をしましょう。</p> <p>○わからないところ、できていないところを明確にして、学習・実習をしましょう。</p> <p>○出来るようになったところ、自分の成長したところに自信を持ちましょう。</p> <p>○各実習においては、安全第一に取り組みましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明中は静かにしましょう。 ・清潔にしましょう。 ・マナーを守りましょう。 <p>《家庭学習》</p> <p>○学校で習ったことを家で実践していきましょう。</p> <p>○家庭では、進んでお手伝いをし、家族の一員としての役割を果たしましょう。</p> <p>《定期テスト》</p> <p>○授業中に学習したことをしっかり復習しましょう。</p>		
学習上の留意点	<p>○忘れ物をしない。</p> <p>○提出物は期限を守り、きちんと提出しましょう。</p> <p>○くれぐれも安全を第一に実習を行いましょう。</p> <p>○実習においては、目的と方法を理解して取り組みましょう。</p> <p>○グループの活動では、仕事を分担し、協力して作業を行いましょう。</p> <p>○便利なものを利用したり、生活をよりよく工夫していきましょう。</p>		

●学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって						
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法				
4	<u>家族・家庭と子どもの成長</u> ・家庭のはたらき ・家庭の仕事を支える社会 ・わたしたちの家庭生活と地域	期末テスト	知識・技能 ・幼児の体と心の発達の特徴について理解している。 ・幼児の成長や生活は家族や周囲の人々に支えられていること気づき、家族や周囲の人々の役割の大切さを理解している。 ・遊び道具の役割を理解している。 ・幼児の特徴を理解し、関わり方を工夫できる。 ・肉、魚、野菜それぞれの特徴や調理上の性質について理解している。	定期テスト 実習作品				
5								
6								
7								
8								
9					<u>食生活の自立</u> ・調理の基本 ・地域の食材と食文化 ・食生活と環境のかかわり	期末テスト	思考・判断・表現 ・幼児の年齢や発達の特徴を考えて、幼児の喜ぶ遊び道具をつくることができる。 ・幼児の心身の発達に応じ、安全に留意した幼児の遊び道具、遊び方について考え、工夫できる。 ・持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。	実習作品 授業プリント
10								
11								
12								
1	・冬休みの課題 ・3年間のまとめ	学年末テスト	主体的に学習に取り組む態度 ・授業準備を忘れず持参している。 ・授業集中ができています。 ・提出物を忘れず提出している。 ・食生活について関心を持って取り組んでいる。 ・幼児の体と心の成長や、地域・家庭の役割について理解しようとしている。 ・幼児の生活に関心を持ち、主体的に学習活動に取り組んでいる。	行動観察 授業プリント ハンドノート				
2								
3								

●学習目標

西中学校

○運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性や健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

○運動についての自己や仲間の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

○運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、生涯にわたって心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度や健康・安全を確保して、運動に親しむ態度を養う。

●学習を進めるに当たって

<p>使用教材</p>	<p>教科書 中学保健体育[Gakken] 副読本・副教材 新版中学体育実技[Gakken] 中学保健体育の学習③[Gakken]</p>	<p>持ち物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・半袖、ハーフパンツ ・ジャージ上下 ・単元で必要なもの (体育館シューズ・水着など) ・体育ノート
<p>学習の進め方</p>	<p>(確かな学力を身につけよう)</p> <p>○体育分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる領域での運動能力の向上を図るとともに生涯にわたって運動に親しむ態度を養おう。 ・仲間と協力して互いに励まし合いながら課題に挑戦しよう。 ・ルールやマナーを守り安全な環境で運動を楽しもう。 <p>○保健分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康と環境、健康な生活と病気の予防、文化としてのスポーツについて理解し、健康の保持増進をしたり、明るく豊かな生活を営む態度を養おう。 <p>○家庭学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身に付けよう。 <p>○定期テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろより授業中の説明や資料の解説、などを整理しておこう。(ノート) ・テスト範囲のお知らせプリントで内容を確認してしっかり勉強しよう。 		
<p>学習上の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・更衣を済ませ準備や整列をし、始業チャイムであいさつを始められるようにする。 ・準備や片付けを積極的に協力して行おう。 ・積極的に授業に参加し、目標に向かって努力しよう。 ・苦手な種目でもできない理由を考えて、あきらめないで挑戦しよう。 ・仲間の学習を援助しよう。 ・授業中の説明や話はしっかり聞き、ノートや資料に書き込むようにしよう。 ・保健の分野では準備物の忘れ物をせず、先生の話をしっかり聞き、常に自分のことに置き換えて、考えるようにしよう。 ・健康、安全に留意して取り組もう。 		

●学習内容及び評価について(3年)

		学習計画		評価に当たって	
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法	
4	・集団行動 体づくり運動 ・新体カテスト ・運動計画	健康な生活と病気の予防	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのスポーツ種目の技術の名称や行い方、ルールや用語、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解しているか。 ・それぞれの種目の楽しさや喜びを味わい、記録や技能の向上が図れているか。 ・作戦に応じた技能で仲間と連携し、試合を展開しているか。 ・保健分野の内容を健康や安全に関心を持ち、理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での活動 ・実技テスト ・学期末テスト
5	・走り幅跳び(男子) ・バスケットボール(女子)				
6	・バスケットボール(男子) ・走り幅跳び(女子)				
7	・水泳(男子 女子)	健康と環境	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自分やチームを振り返り、課題や改善点等がノートに明確に書かれているか。 ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたり、書き出しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中のミーティングなど(観察) ・個人ノートの内容 ・授業中の発言(観察)
8					
9	・体育大会練習 ・陸上(短距離走)				
10	・ソフトテニス(男子) ・バレーボール(女子)	期末テスト	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・運動量を多くしているか ・安全に気を配り、準備や片付けを協力して行っているか。 ・早く更衣をすませ活動場所に来ているか。 ・それぞれの単元に積極的に取り組んでいるか。 ・体の健康に注意し、活動に参加しているか。 ・仲間とともに運動を楽しめているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の活動量(観察) ・仲間への声かけ、指示(観察) ・授業中の発言、発表の様子(観察) ・出席率(参加率)、忘れ物や見学の有無
11	・バレーボール(男子) ・ソフトテニス(女子)				
12	・長距離走(男子 女子)				
1	・サッカー(男子) ・バドミントン(女子) ・体育理論	文化としてのスポーツ	学年末テスト		
2	・バドミントン(男子) ・サッカー(女子)				
3					